

## 山行報告 吾妻連峰 高曽根山と西大巔 山スキー

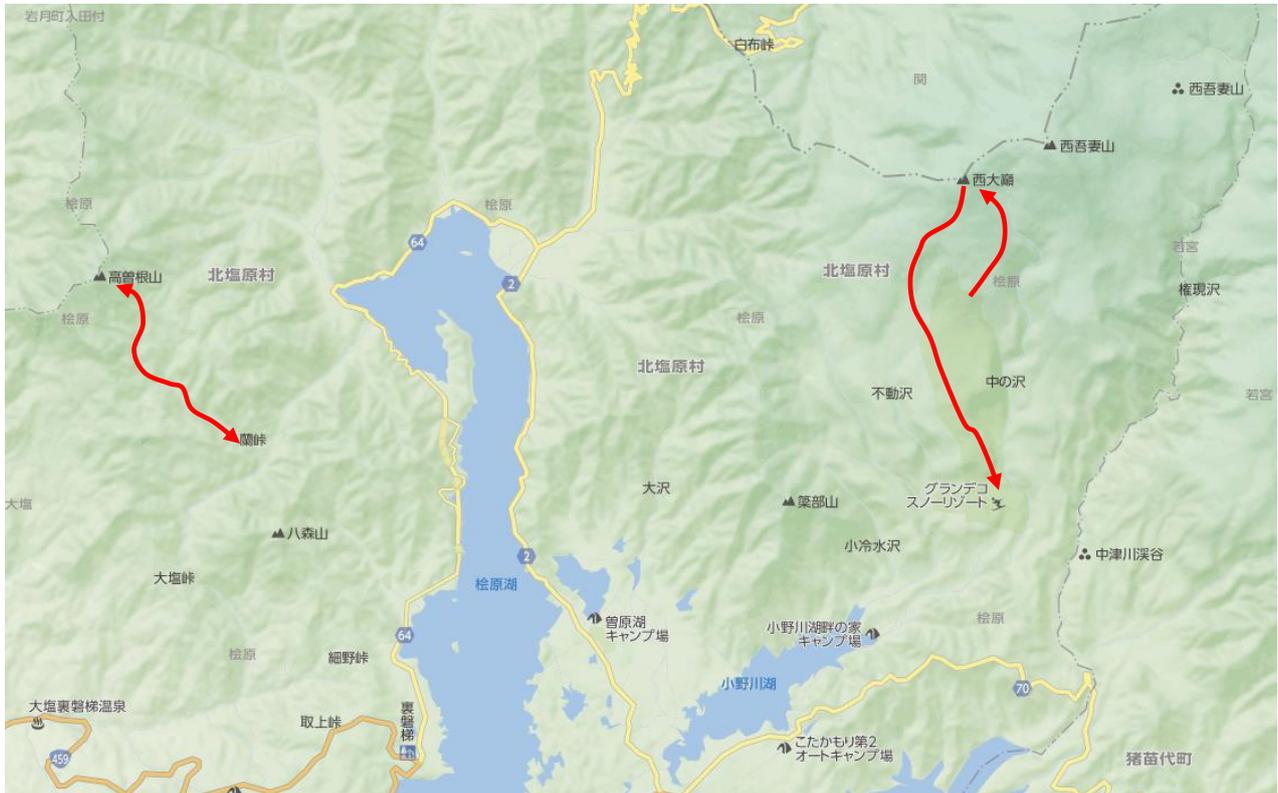
【山城】吾妻連峰

【ルート】高曽根山&西大巔

【登山方法】山スキー

【メンバー】CL 吉川(記録)、SL 柘植、庭田(記録)

【行動日】2月27日、28日



【高曽根山】 (曇りのち晴れ) …… 吉川記録

【行程】2/27 東北道、磐越道經由猪苗代磐梯 IC—蘭峠路肩駐車 9:30—尾根取り付き 11:20—高曽根山山頂 12:45/13:30—駐車地点 15:20

裏磐梯高原から桧原湖を反時計回りに進み、桧原集落より蘭峠を目指した。結氷した湖面にわかさぎ釣りのテントが点々と色を添え、その向こうに高曽根山が見えるはずなのに、残念ながら雲に覆われ姿を見ることはできなかった。3年越しの高曽根山へようやく来ることができた。



標高 907m の蘭峠の路肩に駐車して、地図から大川林道はすぐ見つけれられたが、ラッセルの跡も見られず、人影もない！今日は、我々自力で・・・と思う矢先に、地元人らしき単独者が現れなぜかホッと  
する。やや重雪で深い所で膝下のラッセルを交代しながら進む。

後方から、先ほど挨拶したお方が竹のストックに短いスキー板でワカンのような歩き方で頼もしい姿で  
追いかけてきた。ザックには、これまた味わいのあるワカンとステンレスのコップをコツコツ音を立て  
ながら先導してくれたのでありがたく後に従って、1300m 付近から尾根に取り付き山頂を目指した。



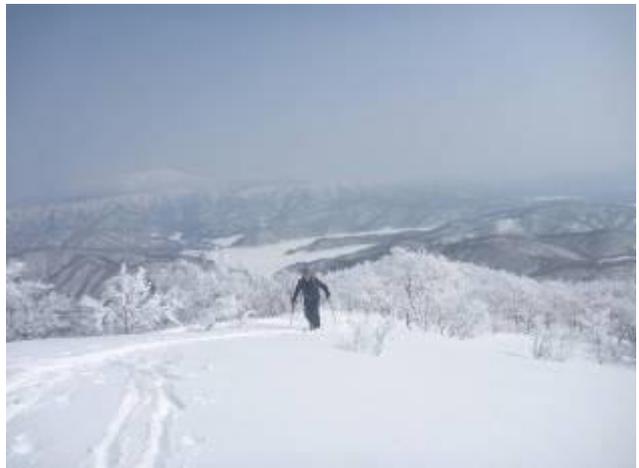
灌木帯はバックされた雪面にがっかりしたが、ブナ林になってからはドライスノーになり、林に差し込  
む陽ざしは霧氷をキラキラ輝かせてその美しさに感動の連続。鍋倉に負けず劣らずの美しさだった。



眼下に桧原湖も見えるようになると登りのペースも増し、間もなく山頂に立った。



山頂手前の庭田さん



ラストで登り着く柘植

西大巔、鉢伏山、飯森山、その奥にうっすら飯豊連峰、振り向けば磐梯山の展望は素晴らしい！山頂で大休止。先導してくれた岩崎さんは、喜多方で濁り酒と峰の雪という酒を作っているとかで、我々に振る舞ってくれた。そして残った酒をお土産にくれた。はじめは寡黙な方と思ったが、なんの何の会津 100 名山を目指す、人好きなどとても楽しい方でした。

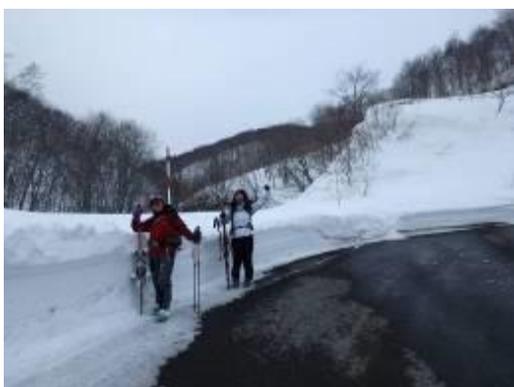


ご厚意に甘えてちょっとだけ味見

岩崎さんの山スキーセット

岩崎さん自家製どぶろく

酒蔵を訪ねる約束をして一足お先に山頂を後に滑降。霧氷のブナ林は、雪質も良く快調なツリーランであった。下部の灌木帯は藪が濃く、日も差し込んで急変した重雪に難儀した。ボブスレーで長い林道を下り蘭峠に滑り着く。



滑降は、300m と少々物足りない感あるが、味わいのある山スキーに大満足！高揚したまま宿に到着すると、宿の親父さんらしき人が、玄関先で待っていたかのように部屋の案内を後回しに、いろいろ話しかけられた。会津の人ってみな話し好きなのか？

夕方から、小雪が舞ってきた明日の西大巔が楽しみだ。三人知恵を出し合って和気藹々楽しい山行ができました。同行のお二人に感謝です。

ゴールの蘭峠

【西大巔】 (曇り時々晴れ) …… 庭田記録

【行程】 2/28 グランデコススキー場 4QL(1570m)9:30-----11:20 西大巔山頂(1982m)12:00-----南西尾根  
----グランデコススキー場(1340m)14:15

グランデコススキー場のリフトトップから西大巔山頂に向けてハイクアップ。昨日と違いトレースが出来ておりさくさく登れる。途中スノーシューを履いたスノーハイクのグループ数組とすれ違う。



リフトトップから踏み込む



樹林の中を登る

スノーハイクで楽しむ人が多い印象だ。後は、ファットなボードを担ぐ若いグループ。東斜面を目的に2回転ぐらいするらしい。スキーヤーは我々だけだった。山頂直下のモンスターに迎えられ無事登頂。



西大巔山頂近くで青空出現



西大巔の山頂

東斜面は見た目は美味しいそうな斜面だが、先に滑っていたスキーヤーいわく、それほどでもないとの事。本日は東斜面は取りやめにして南西尾根を下る。

リーダの吉川さんは、何度か西大巔のツアー経験があり今回はスキー場よりの谷の合間にある尾根ルートを通る予定になっていた。このルートだとゲレンデに出るまでのハイクアップがなくなる。

と、というのがリーダの思惑。山頂から西側を回って下りたかったのだが、どうもコンディションはよくない。滑走技術には自信のない我々、登りの登山道を少し下り、調子の良さそうな斜面から南西尾根に入った。ルートの的には、西よりに進んでいかなければならない。私が先頭でちょこちょこ GPS をチェックしながら西に進むが、深い谷とぶつかり、ここでシールをつけて 100M 程西側にトラバースした。地図と本物の GPS とアプリの GPS を持つ 3 人で、再度ルート確認。そこから尾根を下り、沢を越えるポイントをさぐりながら沢を越え、最後は吉川さんの思惑通りのポイントに出て、ハイクアップなしでゲレンデに到着した。



柘植スタート



すぐ転ぶ (ヘタ)



吉川リーダーの滑走

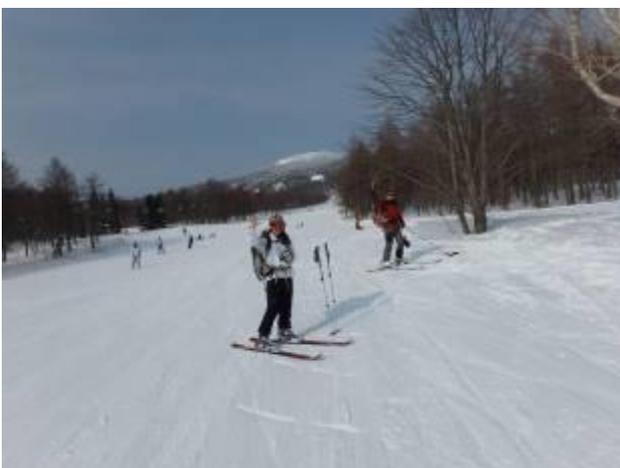


庭田さん



山毛櫨の大木の下で♡

南西尾根は密度の濃い樹林帯で、吹き溜まりもあり、滑走できるルートをさぐりながら自分の行きたい方向に進むのはちょっとした冒険だった。これも、山スキーの楽しさだな〜と実感した。今回のツアーでは、南会津の素朴な景色や人懐っこい地元の方との触れ合いに心が癒される感じがした。



ゴールのグランデコススキー場と西大巔



西大巔の GPS 軌跡